

化学工学会 第 49 回秋季大会
シンポジウム<(5) 多分野に広がる気液固分散系の利用技術および応用展開
～機能性微粒子, ファインバブル, 液滴, ハイブリッドマテリアル,
バイオマテリアル等を題材として～> 報告書

オーガナイザー

瀬戸 弘一 (福岡大学)

五島 崇 (鹿児島大学)

武井 孝行 (鹿児島大学)

本シンポジウムは招待講演 1 件, 一般講演 13 件で構成され, 秋季大会 1 日目に開催された。講演は大学 12 件, 企業 1 件の内訳で, 大学の比率が高かった。聴講者は, 13 時からの招待講演では 40 名程度であり, シンポジウムをとおして 30~60 名であった。本シンポジウムでは「発表 12 分+討論 8 分」という討論重視の時間配分とした。討論 8 分間に活発な質疑が行われ, 十分な討論を行うことができた。

発表内容は, 機能性微粒子やファインバブル, 液滴, ハイブリッドマテリアル, バイオマテリアルの基礎から応用まで幅広く, 関連分野における化学工学の役割や貢献を十分に認識できるものであった。招待講演では, 低密度モノリス型多孔体の新規機能性材料について講演頂いた。

以上